

平成30年6月26日現在

機関番号：87111

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370785

研究課題名(和文) 古代都市大宰府の復元的研究

研究課題名(英文) Reconstructive research of the ancient city Dazaifu

研究代表者

松川 博一 (Matsukawa, Hirokazu)

九州歴史資料館・学芸調査室・研究員(移行)

研究者番号：40446886

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：古代最大の地方都市大宰府に関する史資料・文献の集成を行い、古代都市大宰府がもつ政治都市・防衛都市・宗教都市の側面について考古学の成果と照合しながら検討を行った。その成果としては、出土文字資料の多様性から大宰府の多機能性を解明したこと、文学作品と考古学の成果を通じて、古代都市大宰府の景観復元を試みるとともに、貴族がもつ大宰府に対する重層的な境界意識の存在を指摘したこと、防衛都市を形作る古代山城と宗教都市を象徴する寺院が不可分の関係にあったと論じたことなどが挙げられる。成果は、報告書『古代都市大宰府の研究』収載の論文5本にまとめ、特別展2回・企画展1回として公開し、展覧会図録も制作した。

研究成果の概要(英文)：We conducted collections of historical documents and literature on the greatest provincial city Dazaifu in ancient times and examined aspects of political cities, defensive cities and religious cities of the ancient city Dazaifu with the results of archeology. The results include, (1) elucidating the multifunctionality of Dazaifu from the diversity of the excavated letter materials, (2) attempting to restore the landscape of the ancient city Dazaifu through the results of literary works and archeology, pointed out the existence of boundary consciousness, and (3) argued that the ancient mountain castle forming a defensive city and the temple symbolizing the religious city had an inseparable relationship. Results were summarized in five papers listed in the report "Study of Ancient City Dazaifu", published as a special exhibition twice and a single exhibition and three exhibition catalogues were also produced.

研究分野：日本古代史

キーワード：大宰府 古代都市

1. 研究開始当初の背景

(1) 福岡県教育委員会および九州歴史資料館では、50年にわたり、大宰府政庁跡・同周辺官衙跡、水城跡・大野城跡、観世音寺・筑前国分寺跡などの発掘調査を実施し、その成果を随時正式報告書にまとめている。発掘50年の節目に向けては、点としての個別史跡の研究の深化に加え、史跡を面的に捉える研究、つまり古代都市としての大宰府の研究が重要になっていく。

(2) 古代都市大宰府の研究は、鏡山猛氏の条坊復元研究を端緒とし、1980年以降から本格化した推定条坊域の発掘調査に基づき、複数の復元案が提示された。現在、井上信正氏による一区画90m四方の条坊案が有力である。また、官衙域は石松好雄氏の府庁域案が、さらに防衛線の視点からは阿部義平氏の大宰府羅城案が定説化しつつある。しかし、その多くは、発掘調査成果に基づく区画の議論が主体である。さらに、古代都市・大宰府を概括する際には、大宰府が有する機能から防衛都市・政治都市・宗教都市・国際都市として語られることが多いが、その具体像が明らかにされているとは言い難い。

(3) 条坊内では「客館跡」と比定される遺跡の発見や、条坊北外郭では日本現存最古の戸籍関係木簡の出土、大宰府の外郭では近世絵図の史的な価値の高さを裏付ける大野城城門跡の新発見などがみられ、古代都市大宰府の性格を考える上で重要な発見が相継いでいる。

(4) 大宰府の外郭となる古代山城・阿志岐山城跡と、大宰府の鬼門の守りとされる山岳信仰の山・宝満山が平成23・25年にそれぞれ国史跡に指定されたことで、今後の調査研究の進展と社会的な関心の高まりが期待でき、本研究の社会的な意義も大きいと考えている。

2. 研究の目的

(1) 本研究の目的は、古代都市・大宰府を構成する遺跡の発掘調査成果の検討や関連史料との照合を通じて、古代都市大宰府の構造や機能を明らかにすることである。

(2) 本研究では、主として文献史学と考古学との協業により、最新の発掘調査成果をはじめ、文学・地誌・絵図・地籍図なども対象とし、古代都市大宰府の構成要素や時代的な変遷を解き明かし、古代都市・大宰府の実像を複眼的かつ総合的に捉える。

3. 研究の方法

(1) 本研究のベースとなる 関連史料の集成・調査、近世絵図の調査、出土文字資料の検討を行った。『万葉集』『菅家後集』等の文学作品の史料集成を重点的に行うなかで、古代大宰府の空間研究には、国文学や歴史地理学の交通研究の成果を大いに取り入れるべきことを再認識し、隣接諸学の関連文献の収集にも努めた。『大宰府旧蹟

全図 北図』『大宰府絵図』の複製を使って文字情報の詳細な確認作業を行った。は研究協力者の酒井芳司氏とともに、赤外線スキャナやカメラを活用して、大宰府史跡出土の木簡積文の再検討を行ったほか、大宰府史跡のうちで大量に木簡・墨書土器などの文字資料が出土している大宰府政庁周辺官衙跡の出土品を調査した。

(2) 考古資料、特に特殊遺物について連携研究者の協力を得て集約を行った。具体的には出土文字資料の集成・調査、特殊遺物・遺構の集成・調査、都城・東北との比較研究である。は引き続き酒井氏とともに赤外線スキャナを活用して調査を実施した。は報告書より大宰府条坊跡出土品はもとより、とりわけ防衛都市を構成する水城・大野城跡、宗教都市を象徴する観世音寺・四王寺・筑前国分寺跡および経塚からの出土品や遺構を集成・調査および現地踏査を行った。は都城・東北との比較研究にも取り組み、国立歴史民俗博物館の三上喜孝氏や東北学院大学の熊谷公男氏を招聘して意見交換を行うとともに、市民向けの講演会を開催した。

(3) 文献史料等の検討である。具体的には、文献史料および出土文字資料の調査・検討、古代東北との比較研究・学术交流の基盤づくり、地籍図の予備調査を行った。はこれまで集成した大宰府の官衙や条坊・山城・寺院等に関する史料の中から古代都市大宰府の復元に有益な史料を抽出し、検討を行った。特に観世音寺文書の検討や木簡・墨書土器の内容の解釈を試みた。は、秋田城・払田柵跡の現地踏査と資料調査を行うとともに、今後の学术交流の基盤を築いた。は、九州大学が所蔵する地籍図のデジタルデータの入手・検証を行った。

(4) 研究期間の延長を行い、地籍図調査と研究の総括を行った。大宰府市公文書館の協力を得て、大宰府市内(旧水城村)の地籍図のデジタル化と調査を行った。その成果については、本研究の後継テーマとして、平成29年に並行して進めた平成29~31年度科学研究費(基盤研究C)「古代大宰府の部内諸司に関する基礎的研究」(研究代表者 松川博一)の成果とあわせて今後、報告する予定である。

4. 研究成果

(1) 古代都市・大宰府を論じる際には、大宰府が有する機能から政治都市・防衛都市・宗教都市・国際都市として語られるように、古代都市として多様な側面を有している。本研究では、それにもとづき、政治都市・防衛都市・宗教都市としての大宰府についての研究成果は以下のとおりである。

(2) 文学作品の集成・検討の成果としては、『万葉集』の筑紫歌群の分析を通して、奈良時代の中央貴族がもつ大宰府に対する境界意識について検討を行った。特に蘆城駅家・水城東門・夷守駅家に着目し、重層的な境界

意識が存在したとする知見を示した。さらに菅原道真の漢詩集『菅家本草』『菅家後集』を通じて平安貴族がもつ大宰府像を解き明かすとともに、漢詩にみえる言葉から道真が目にした古代都市大宰府について、発掘調査成果との整合性を中心に検討を加え景観の復元を行った。その成果は、特別展「大宰府への道 - 古代都市と交通 - 」に反映されている。

(3) 出土文字資料とその関連文献の集成をうけて、個別資料や資料群についての先学の研究成果を可能なかぎり引きつつ、総合的な検討を行った。出土文字資料の多様さは、古代最大の地方官衙としての大宰府がもつ役割の重要性や政治都市としての大宰府の求心力に加え、一地方官衙という枠を超えて、都城跡に比肩するものであることを明らかにした。その成果は、企画展「大宰府の役人と文房具」で紹介した。

(3) 防衛都市大宰府を形作る古代山城の役割について論じた。奈良時代以降の大野城・基肄城・鞠智城の役割は、対外防衛や外交、さらに西海道内の疫病の流行に対する備えや蓄えとして、有事に必要な武器・武具や兵糧はもとより、非常時の公糧、さらには財源となる不動穀を兵庫や不動倉に備蓄することだったとの結論を導き出した。特に新羅や疫病への脅威が高まった9世紀には、物心の両面において古代山城の役割と存在感が高まったことを明らかにした。その成果は、九州国立博物館・明治大学で開催されたシンポジウムで報告した。

(4) 宗教都市大宰府に建立された古代寺院、特に観世音寺と四天王寺について検討を行った。新羅調伏を目的とする大宰府四天王寺の建立により、観世音寺が西海道の寺院や僧尼を統轄する「九国二島の僧統」としての役割に重きが置かれるようになることを述べた。あわせて広域な意味の大宰府の境界内に鎮座する神社も観世音寺や四天王寺と連動する形で整備されたことを論じた。その成果は、前項とあわせて特別展「四王寺山の1350年 - 大野城から祈りの山へ - 」で紹介した。

(5) 古代都市大宰府がもつもうひとつの国際都市としての側面については、今回、十分な検討ができなかった。これについては、大宰府条坊内で新たに発見された客館跡の位置づけや鴻臚館（筑紫館）との関係、蔵司跡の大型礎石建物の迎賓機能についての議論などがあり、取り組むべき課題も多く、あらためて取り組みたいと考えている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

松川博一、律令制下の大宰府と古代山城、九州歴史資料館研究論集、査読有、43、2018、PP.21-32

松川博一、駅家と饒宴 - 蘆城駅家と夷守駅家をめぐると一考察 - 、九州歴史資料館研究論集、査読有、40、2015、PP.1-18

松川博一、大宰府と寺社、都城制研究、査読無、8、2014、PP.101-121

〔学会発表等〕(計4件)

松川博一、「大宰府官司制論 - 被管所司の検討を中心に - 」、第1回大宰府研究会(於九州歴史資料館)、2017

松川博一、菅原道真公が見た大宰府 - 文献史学と考古学の成果から - 」、第9回松崎天神縁起研究会(於防府天満宮)、2017

松川博一、平安時代の大宰府と古代山城、熊本県教育委員会・明治大学日本古代学研究所主催鞠智城東京シンポジウム2016『鞠智城の終焉と平安社会 - 古代山城の退場 - 』(於明治大学)、2017

松川博一、文献史料から迫る、九州国立博物館主催シンポジウム『大城(大野城)も謎に迫る』(於九州国立博物館)、2016

〔図書〕(計5件)

松川博一・小田和利・岡寺良 他、九州歴史資料館、大宰府への道 - 古代都市と交通 - 、2018、pp.25-30,146-153

松川博一、九州歴史資料館、古代都市大宰府の研究 - 出土文字資料と文学作品からみた大宰府の諸相 - 、2018、80

松川博一 他、桂書房、官人 大伴家持 - 困難な時代を生きる良心、2017、pp.76-83

松川博一・小田和利、九州歴史資料館、大宰府の役人と文房具、2016、pp.5-13,29-46,62-65

松川博一・小田和利・岡寺良 他、九州歴史資料館、四王寺山の1350年 - 大野城から祈りの山へ - 、2015、pp.10-19、

〔展覧会〕(計3件)

特別展「大宰府への道 - 古代都市と交通 - 」九州歴史資料館 第1・4展示室、2018.10.24~12.6

企画展「大宰府の役人と文房具」、九州歴史資料館 第1・2展示室、2016.4.24~6.17

特別展「四王寺山の1350年 - 大野城から祈りの山へ - 」九州歴史資料館 第1展示室、2015.10.24~12.6

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松川 博一 (MATSUKAWA, Hirokazu)
九州歴史資料館・研究員
研究者番号：40446886

(2) 研究連携者

小田 和利 (ODA, Kazutoshi)
九州歴史資料館・研究員
研究者番号：60554904

杉原 敏之 (SUGIHARA, Toshiyuki)
九州歴史資料館・研究員
研究者番号：20543680

岡寺 良 (OKADERA, Ryou)
九州歴史資料館・研究員
研究者番号：70543693

一瀬 智 (Ichinose, Tomo)
九州歴史資料館・研究員
研究者番号：20543698

(3) 研究協力者

酒井 芳司 (SAKAI, Yoshiji)
九州国立博物館・主任研究員
研究者番号：00543688

井上 信正 (INOUE, Nobumasa)
太宰府市教育委員会

小鹿野 亮 (OGANO, Ryou)
筑紫野市教育委員会